

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和7年3月3日
タイトル	継立小学校 稲作体験学習
水土里レポーター名	栗山土地改良区 総務課 主事補 山崎圭太

令和6年5月16日(木)継立小学校にて稲作体験学習最初の授業として田植え学習が行われ、小学3年生から小学6年生の児童が参加しました。場所に関しては校舎横にある農業者の片山肇さんの水田にて行われ、南部耕地出張所などの関係機関の方々から協力を得ながら、1時間ほどかけて苗を植えていきました。3年生は初めての稲作体験学習ということで田植えに戸惑う児童もいましたが、経験者である5年生・6年生から苗の植え方を教わりながら楽しく学習していました。



9月10日(火)には稲刈り学習が行われ、田植え学習と同様に小学3年生から小学6年生の児童が参加しました。児童は自分たちが植えた苗の成長を感じながら、協力して稲の刈り取り、運搬、はさがけ作業を分担して行いました。稲の刈り取りやはさがけ作業に関してはなれない作業ということもあり苦戦する児童もいましたが、先生や南部耕地出張所職員に指導を受けながら懸命に行っていました。



11月19日(火)には稲作体験学習最後の授業としてお世話になった関係機関の方々を招待し、炊飯学習が行われました。小学3年生から小学6年生の児童が収穫した稲から取れたお米を炊飯し、カレーライスにいただきました。児童たちは今年度の稲作体験学習を振り返りながら、食べ物を作る大切さと大変さを学びました。

引き続き、栗山土地改良区は継立小学校の稲作体験学習に協力し、農業体験を通して食べ物を作る大変さやありがたみを知ってもらえるよう活動していきます。